

自然庭づくり入門.....

シェアリングアース協会代表 藤本 和典氏



ミントの花を訪れたベニシジミ



シェアリングアース協会代表 藤本 和典氏
1951年東京生まれ。NHKラジオ科学子ども相談室に出演。日本野鳥の会に10年勤務。その後、シェアリングアース協会を設立し、自然観察ガイドで活躍。小さな頃から昆虫好きで野鳥好き。「少年がそのまま大人になった感じ」といわれる。野鳥にかぎらず、すべての自然観察ガイドの第一人者である。著書に『庭に鳥を呼ぶ本』(文一総合出版)、『週末自然観察入門』(山と溪谷社)などがある。

庭の匂を愉しむ...生き物たちと共生するガーデニング



皆さんは、庭や公園でシジュウカラという鳥を見かけたことがありますか...。ほっぺが白、胸に黒いネクタイをしめ、大きさはスズメぐらい。彼らが1年に食べる毛虫の数は、なんと12万匹という調査結果があります。

鳥が住んでいるということはそれだけ昆虫も住んでいるということです。そして昆虫は、植物がなければ生きていきません。

鳥が来れば、薬を使わなくても虫を食べてくれるという効果もありますね。私の実家の庭は、この20数年来果樹にも農薬を使わず、鳥を呼ぶことで自然の生態系にまかせているので、生き物たちの楽園になっています。

生き物が遊びに来る庭づくりは、実はちょっとした工夫でできるものなのです。もちろんベランダやバルコニーでも可能です。自然が少なくなったと嘆いていないで“自分のまわりから始めてみよう”のプランニングテーマを、エクステリアをお手掛けの皆さんから施主様に発信していただければいいのですが...

自分の庭から始めよう

人間はいろいろなかたちで自然を破壊してきています。そんな中で、何が私たちにできるだろうかというのが今日のテーマです。虫や鳥がやってくる庭づくりというのは生き物のための環境づくりですから、私たちの次の世代、そのまた次の世代への環境づくりにもなります。

私たち一人ひとりが始めればお隣も始め、地域全体が始めるというように、点が線に結ばれ、線が面が変わっていくこととなります。

そんなことが簡単にできる方法をご紹介しますので、興味を持っていただければ今日からでも施主様と共に始めていただきたいと思います。

イラスト—前田まゆみ氏

英国コンスタンス・スプライン・フラワースクールでフラワーアレンジを学ぶ。同時に、イギリスの庭に影響を受け、趣味でガーデニングをはじめ。その後、自宅で本格的に園芸をはじめイラストを描く。

著書「リトルガーデンブック」「マイ・アニバーサリー」「リトルガーデンのしあわせ」「夢みるガーデンのつくり方」他



鳥が好きな木

クロガネモチやガマズミなどの実のつく木が鳥は大好きです。これらの木は、鳥たちが寒さに追われて渡ってきたり山から降りて来るころに赤く色づき始めます。雑木林にも生えているガマズミはルビーのように真っ赤な実をつけますが、ひと霜降りるごとに甘酸っぱく美味しくなり、人も果実酒にして楽しめますが、鳥たちも大好物です。ムラサキシキブは、少し前まで売られていた梅仁丹そのままの大量の実をつけます。冬まで実が残っているので様々な小鳥たちがついばみます。軽井沢の塩壺温泉ホテルの裏庭には、毎年、この実を求めてツグミの仲間やメジロ、アトリ、ウソといった鳥たちが必ず飛来し、これを写真に納めようと人も泊まりがけでやってきます。ツバキの花びらを見ると、針でつついたような穴がたくさんあいていることがあります。この穴はメジロがとまってきた跡です。メジロは花の甘い蜜が大好きで、冬ツバキはメジロのような小鳥に花粉を運んでもらう鳥媒花なのです。メジロは花に顔をつつこんで蜜をなめ、花粉で真っ黄色の顔になりながら受粉させます。品種改良された八重咲きのツバキには蜜も花粉もありませんね。

生き物に配慮した庭づくりをするのでしたら、こんなものより、その地域に昔から生えていた一重のヤブツバキを植えば「生き物のネットワーク」ができるのです。

日本に昔からあり地域に生えている木は、そこに住む動物たちと契約しているといえます。小さな花が咲けばその花にちょうど見合った大きさの花バチがやってきますし、実をつけるころには北の国から渡り鳥が飛んできます。樹木と鳥たちの契約は、種子が熟すころに実が目立った色をつけて鳥たちにシグナルを送り、種子を遠くに運ばせてふんとともに撒いてもらい、新天地で根を下ろして増えていくというもので、これでかなり遠くまで分布を広げることができます。

皆さんのお庭でも、マンリョウやアオキの実生(木のこども)が出てくるのは、この契約によるもので、鳥たちは自分の好きな実がつく木を植林しているのです。樹木の方では、実のカタチに工夫をこらしています。食べられるときにかみ砕かれてしまうと大切な種子に傷がつき、発芽できなくなるかも知れません。そこで丸飲みされるように球形や楕円の形をしたものが多く、また、契約している鳥たちが飛来するころに、その鳥のくちばしの大きさに合わせた実をつけて待っているのです。

樹木の選び方に配慮したあとは、どんな工夫をすればどんな鳥たちを呼び寄せられるかということですが、これは次回にご案内いたします。



アキアカネが休息



軽井沢塩壺温泉ホテルのラウンジには、バードウォッチングを楽しむ人たちが押しかける



鳥たちを招く自生種のミズキの実

INDEX

- 自然庭づくり入門.....1
- 設計ノート.....3
- ロンドンレポート.....6
- ガーデニングニュートレンド.....7
- 魅せるスーパー御庭番.....8
- 秋の新商品ダイジェスト.....9
- 御庭会通信.....裏表紙
- 御庭会スタッフ紹介.....裏表紙

表紙...村西恵津氏 / イラストレーター・デザイナー
インテリア・生活小物デザイン等幅広く制作活動...2000年九州・沖縄サミットでは、公式贈答品となった扇子の押し絵を手がける。